科目名称	看護概論Ⅰ（看護概論）	学年学期	単位数	時間数
		1学年前・後期		40時間
担当教員	香川　暁美	授業に関わる実務経験	■有（　看護師　） □　無	

【1】 授業概要

看護を学ぶうえで基盤となる基礎看護のなかで、看護概論では看護とはなにか、看護の対象である人間とはどんな存在であるかを学び、看護が何を目的とし、どのような方法で行われるのかについて基本的な事項を学ぶ。そして看護について自分の考えや態度を養っていくことを目的とする。

【2】 学習目標

1) 看護の対象者としての人間がどのような存在であるか理解できる。
2) 人間の健康の概念、健康をまもる仕組みについて理解できる。
3) 人間が健康な生活を送るための環境がどのようなもの理解できる。
4) 看護の目的、対象、方法について理解できる。
5) 保健医療福祉の連携と看護職の役割と責任を理解できる。
6) 法律や看護倫理の側面から、専門職業人としてのあり方について考えることができる。
7) 看護が専門職業にいたった歴史的変遷を理解できる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

Ⅰ. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
■ 1. 人間を生活者として捉えることができる。
■ 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
Ⅱ. 看護を実践する力
■ 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
□ 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
■ 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
Ⅲ. 人間関係を構築する力
■ 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
■ 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
Ⅳ. 主体的に学び続ける力
■ 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
■ 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護のとらえ方　私の考える看護とは	講義
2	看護理論と看護①	講義・DVD
3	看護理論と看護②	講義
4	看護の対象	講義
5	健康とは	講義
6	看護活動①	講義
7	看護活動②	講義
8	看護活動③	講義
9	看護活動とは④	講義
10	病院組織と看護活動	講義
11	看護者としての倫理	講義
12	医療安全と看護	講義
13	職業と看護	講義
14	保健医療福祉のしくみ①	講義
15	保健医療福祉のしくみ②	講義
16	看護史	講義
17	事例報告①	講義
18	事例報告②	講義
19	事例報告③	講義
20	試験	筆記試験

【5】 評価方法

筆記試験80%　健康に関するレポート20%　計100点で60点以上で合格

【6】 教科書

中原 るり子他著 「看護学入門5 基礎看護Ⅰ（看護概論）」 メヂカルフレンド社 第7版 2022年

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ